

地元産「まいひめ」使用

イチゴスイーツ舌鼓

青森、フェス

を栽培するイチゴ農家、大石剛史さんの農園でのイチゴ狩りツアーもあった。今後も続けていきたい」と話した。
(渡辺暁子)

「気多の市 莓フェス」(鳥取市西商工会・実行委員会主催)が15日、同市気高町浜村のヤサホーパークで開かれた。地元産のイチゴ「まいひめ」を使った限定スイーツの販売などがあ

り、多くの家族連れでにぎわった。毎年夏恒例だった「気多の市」を、初めてイチゴをメインにして春に開催した。

市内や八頭、若桜両町の飲食店など12団体が出店し、ロールケーキやシフォンケーキ、タルト、シエークなど、イチゴをふんだんに使ったスイーツを提供。

青森の下、買い求める多くの来場者が列を作り、親子連れらが舌鼓を打った。

地元で「まいひめ」

佐々木篤史実行委員長は「イチゴは子どもから大人までみんなが好きで、家族で来ても楽しめるイベントになっ



イチゴを使ったスイーツを味わう親子15日、鳥取市気高町浜村のヤサホーパーク

気多の市 苺フェスティバルの開催について

気多の市 苺フェスティバルが、5月15日（日）ヤサホーパークで開催されましたので報告します。

